

2026 年度 大学院秋季・春季入試（中国言語文化学専攻）

博士課程（前期）

専攻科目 中国言語文化学

---

【合否判定の方法】

提出書類および外国語試験、専門科目、面接の成績を総合的に評価し、合否を判定する。

【合否判定の基準】

提出書類および各試験の結果を総合的に評価し、研究計画の妥当性および博士課程における研究遂行能力を有しているかを判断する。

1 試験日（秋季）2025 年 10 月 11 日

（春季）2026 年 2 月 13 日

2 科目 専門科目（200 点満点）

中国言語文化学

3 出題意図

本研究科のアドミッション・ポリシーに則り、専攻分野に関する十分な基礎知識を有しているか、研究遂行に必要とされる中国語および日本語の語学力、分析能力、判断能力などを身につけているかを測ることを目的とする。

以下、各設問における採点のポイントに記す。

問 1：中国語資料の読解力および理解力を総合的に確認する。内容としては、言語学の基礎文献や、中国近現代文学など異なる文体の資料が含まれる。日本語で文章を書く能力も測る。

(1)語学関係

1.中国語の実詞と虚詞の違い、及び虚詞の文法的機能について述べた専門的な文章を正確に読解し、その内容を適切にできるかを問う。（秋季）

2.中国語の文法規範化に関する専門的な文章を題材に、文法規範化の根拠となる語料と、それを分析・総括する文法研究の役割について、筆者の論旨を正確に読み取る力を測る。（春季）

(2)文学関係

1.現代中国語で書かれた小説を平易な日本語に翻訳できる。

2.中国の風土や生活習慣に関する用語を正しく理解し、適切な用語を用いて日本語に訳せる。

**※著作権の関係で模範解答の掲載はできない**

問2：中国語による表現能力を確認する。読解によって得た内容を、適切かつ正確な中国語で表現できるかを問う

1. 論理構造を正しく捉え、明確な中国語に翻訳できる。
2. 日本語特有の表現、言い回しなどを正しく理解し、適切な用語を用いて中国語に翻訳できる。

**※著作権の関係で模範解答の掲載はできない。**

問3：

1. 言語学や中国語学の用語を説明されることで、当該分野についての専門知識の有無や知識についての正確性について測る。(秋季)
2. 中国語学および関連分野である言語学、教育学などの諸領域に関する基礎知識およびそれらを用いて論理的に記述する能力を問う。(春季)

**※著作権の関係で模範解答・過去問題の掲載はできない。**

以上